

## 助成事業実施報告書

団体名 NPO法人こまくさの会 こまくさ工房

代表者・役職名 氏名 所長 河尾 豊司

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

こまくさフレンズ

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1999年秋の頃、滝乃川学園(国立市)の指導員が昭島市に、特別支援学校知的重度卒業生の明るい通所作業所が出来ないものかと想い、一念発起して学園を退職し、昭島市内の先進的議員や地元有力者・福祉行政担当者・学校教師に2年にかけて訴え、協力を得て、こまくさ工房は彼の私財を原資に2002年開設しました。2010年NPO法人化しました。会員は創設期20名、現在支援者120名を超えます。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

こまくさ作業所の就労支援のサービスメニューは、大きな全身の動きが少なく、指先の巧緻性を主に求める作業特性があります。結果、30代利用者の肥満が進行します。就労継続支援B型は狭義の就労支援のみではなく、全人的QOLを保障するものでなくては、逆に就労支援目的そのものも危ういとの憂慮より、参加者の心身のコミュニケーション力アップの機会が大事だと認識し、それには抵抗感がなく柔軟にして心身の応答的交流を保証する音楽療法活動が至適と構想しました。音刺激に対する全身の動きと心身の自然な触れ合いが目的です。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

障害者就労継続支援作業所の利用者(自閉症・ダウン症・筋ジストロフィー他を併せ持つ知的障がい者)に対し、招聘された認定音楽療法士が、月1回60分1セッション、作業所を会場に、音楽療法活動に参加する文化機会を提供し、以て、全身運動の少なく孤立気味な各利用者の、意図的な音感と楽器操作による「ふれる」「まじわる」「うごく」を通じて、利用者が柔軟性ある応答的人間関係を習得するよう、支援します。導入は発達障がいのある人の愛唱歌「カントリーロード」を斉唱して、彼の主体的参加を保障し、ハイライトのリボン演技では、参加者各人の愛唱歌を、ハンガリー舞曲に自在に挟んで、楽しさを喚起します。世界各国の楽器を用意して、興味を引き出します。記録参照

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

予定通り、毎月1回、延べ参加者数84人です。顕著な成果は、Aさんの行動変容です。Aさんは、今迄みんなの輪に入らず、外周にいて、こまくさフレンズは「いやだ。やらない」と8月まで拒否でしたが、9月から、Aさんの好きなプリキュアの曲を流すと、リボン演技に主体的参加をしました。年度末迄、皆の前で、演じられるまでに変容しました。ダウン症のOさんも、こまフレへの積極性が、こまくさ生活全体の積極性に広がりつつあります。「社会的な変化」では、朝日新聞写真入り記事掲載と、2018年度昭島市就労作業所部会が、こまフレ見学を年間予定にいました。新聞記事掲載は、同業の音楽療法士に非常に刺激・勇気・励ましを与えています。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

課題は、①講師が、参加者一人ひとりの障がい特性をもっと知って、個々にラポールを形成でき、もって、参加者が一段と主体的にフレンズの時間中、心置きなく楽しめるよう、こまくさ工房支援者が講師に各人の特性把握で協力することです。②もっと楽器を購入、用意し、個々人が漏れずに楽しめるようにすることです。今後の展望は、①今は、作業室を整理してその時間だけ転用し、音楽療法活動が展開できるようにしていますが、できれば専用の療法活動室が、就労支援事業所としてほしいです。②今後の或る時期、こまくさ工房以外の障がい福祉作業所に積極的に参加を呼びかけて、講師の実力をもっと引き出し、且つ就労継続B型作業所の文化性を高めてみたいのです。

### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



